

令和4年度 学校だより

はがきた

学校づくりアンケート号 令和5年2月

教育目標

集中して学び、生命と人権を
守り、生きる力の基礎を身に
付けた子どもを育成する。
『学ぶ子 守る子 がんばる子』

児童・保護者の皆様に御協力いただきました「学校づくりアンケート」の集計が
終わりましたので、結果をお知らせいたします。

アンケート項目は、児童と保護者で若干の表現は異なりますが、対比できるよう
な項目になっております。なお、各項目の下には、それぞれの結果に対する学校側
での考察およびコメントを掲載しました。

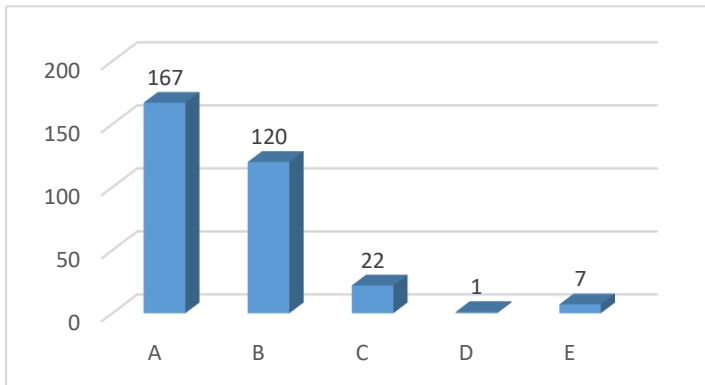
(グラフに付記してある数値は、全て人数となっています。)

- A よくあてはまる
- B ほぼあてはまる
- C あまりあてはまらない
- D まったくあてはまらない
- E よくわからない

確かな学力について

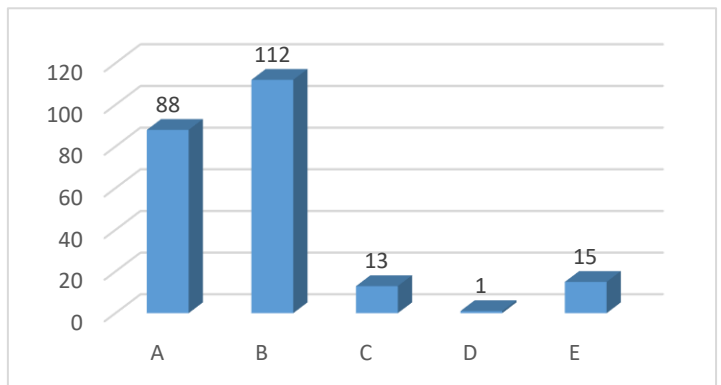
児童

Q1：授業の内容がよく分かる。



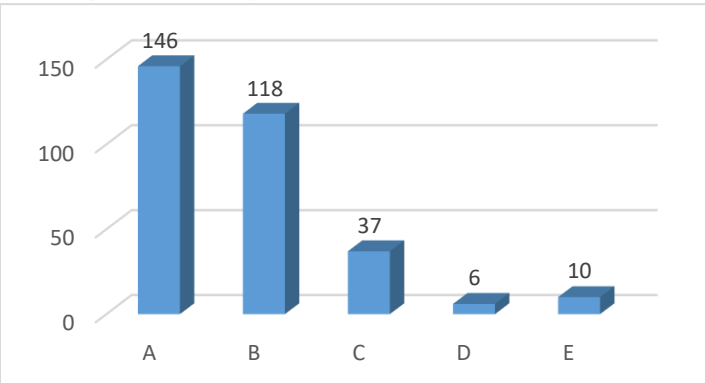
保護者

Q1：学校は、子どもに、楽しく、わかりやすい授業を提供している。

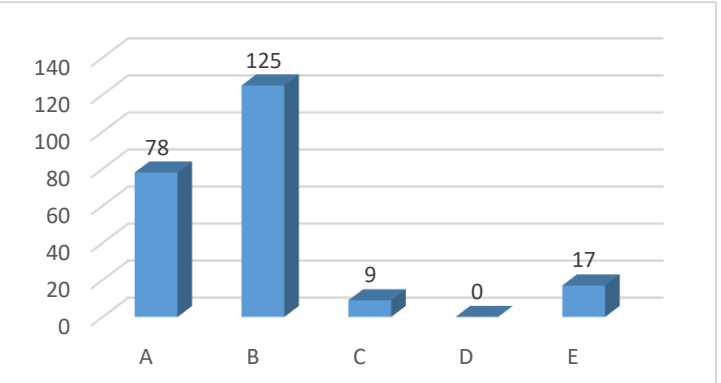


A（よくあてはまる）・B（ほぼあてはまる）を合わせた肯定的な意見は、児童の回答で87.3%、保護者回答でも90.5%である。保護者から「子ども達の個性を尊重しながらも、全体最適の学びを追求されている先生方に感謝しています」というご意見もいただいています。また、「授業が分からない」というご意見もいただいているので、今後も成果や課題を検証し、授業改善を続けていきたい。

Q2：「みんながわかる、みんなでわかる」を目指し、学び合い学習をしている。

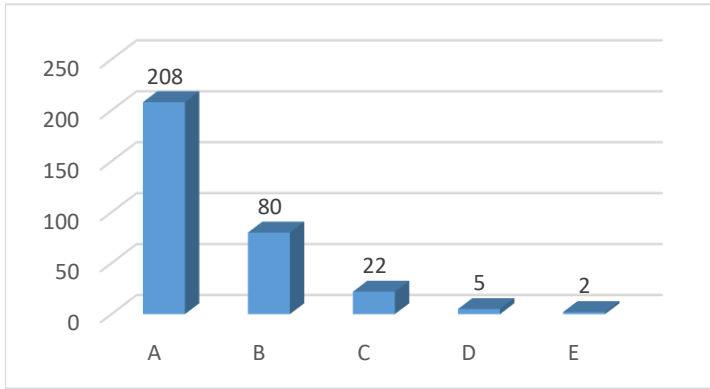


Q2：学校は、子どもの学び合う力を向上させている。

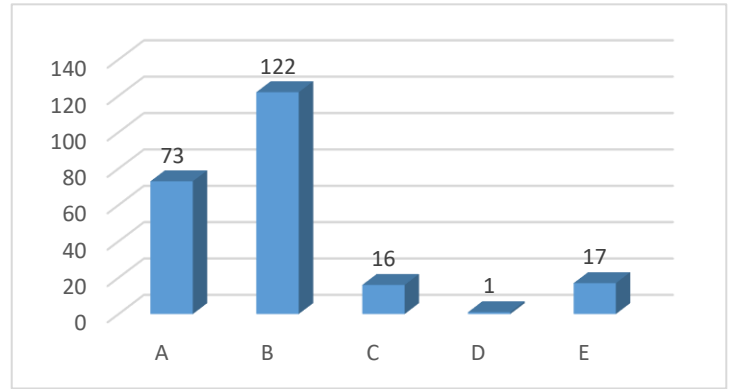


A・Bを合わせた肯定的な意見は、児童は83.2%、保護者回答は88.7%である。11月には「学び合い」の研究を発表した。友達の意見を聞き合う、話し合う、教え合う等の活動を授業の中に取り入れてきた結果、その成果は現れてきている。授業中発言する児童も増えてきている。今後も、児童が自ら考え、表現できる機会を多く設けていきたい。

Q 3：授業に一生懸命に取り組んでいる。

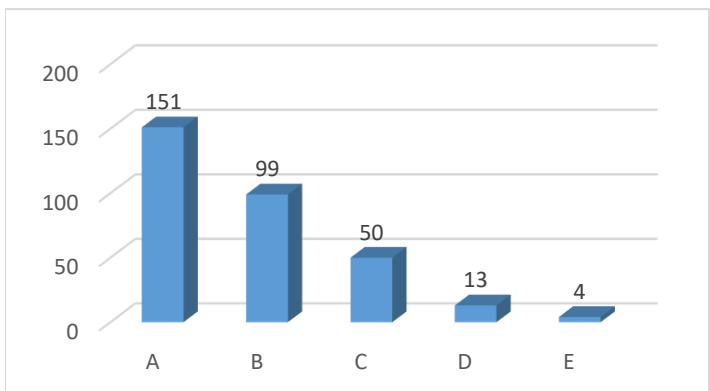


Q 3：学校は子どもの学習意欲の向上を図っている。

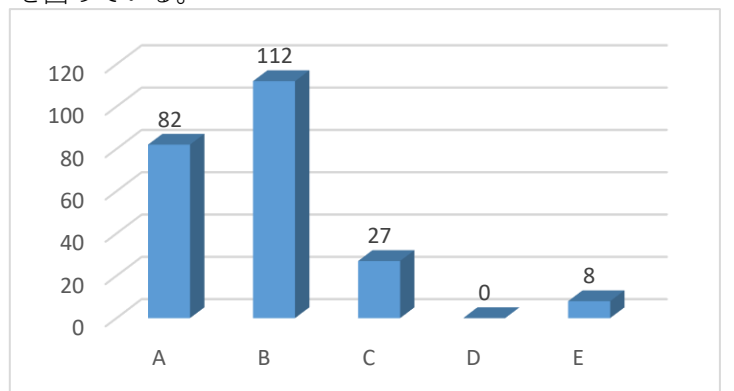


A・Bを合わせた肯定的な意見が児童が90.9%、保護者が85.2%である。一生懸命授業に取り組む児童が増えている。児童が授業内容に興味を持ち、楽しく学べる授業を展開することが大切である。また、保護者回答から、「授業内容が分かる指導をお願いしたい」といった意見もあるので、家庭学習の際に具体的な学習内容等がわかるようにしていくことが必要であると感じている。

Q 4：家で家庭学習の仕方・習慣が身に付いている。



Q 4：学校は子どもの家庭学習の仕方を指導したり、習慣化を図っている。



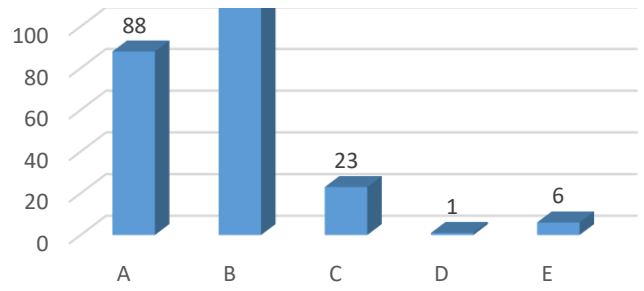
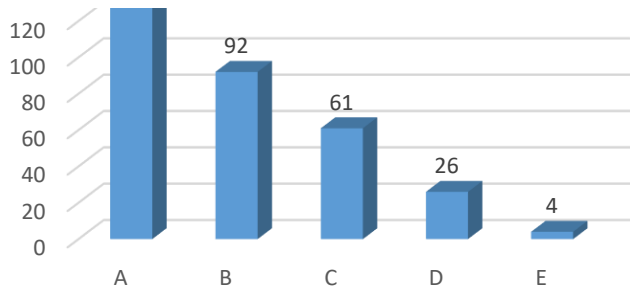
家庭学習の仕方・習慣については、A・Bを合わせた肯定的な意見が児童78.9%、保護者84.7%となっている。学力の向上には、家庭学習の充実が大変重要であるので、学校と家庭が連携し、その方法を確立していかなければならないと感じている。芳賀町小中学校全体で作成した「家庭学習のすすめ」を配付したが、今後は更に活用していきたいと考えている。

Q 5：自分の考えを発表することができる。



Q 5：子どもは家庭でも自分の意見をはっきり発言する力が育ってきた。



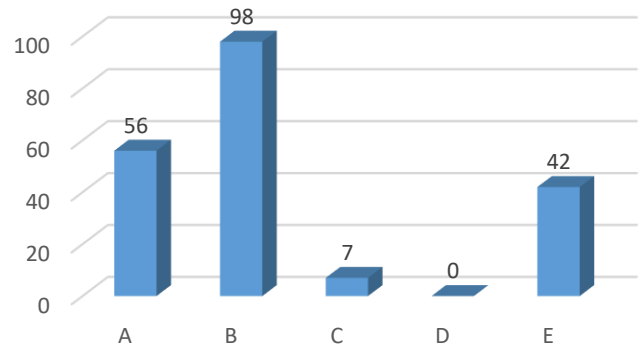
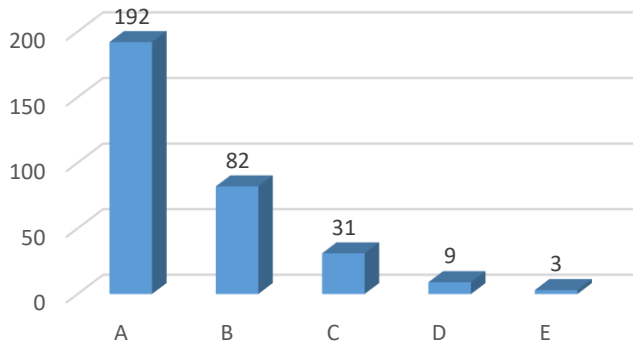


自分の意見や考えを發表することができるかは、児童は71.3%、保護者から86.9%の肯定的な意見を得た。3年間の「学び合い」の研究を行ってきた成果が表れている。児童同士が話し合ったり発表したりする時間を増やすなど、主体的・対話的で深い学びを目指し、積極的に授業改善に取り組んでいる。

豊かな心について

Q 6：道徳の時間に、テーマについて一生懸命に考えている。

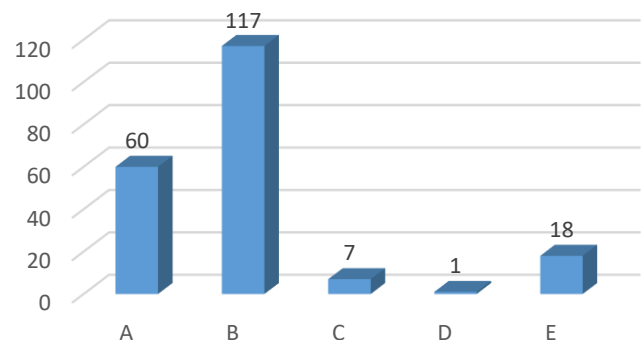
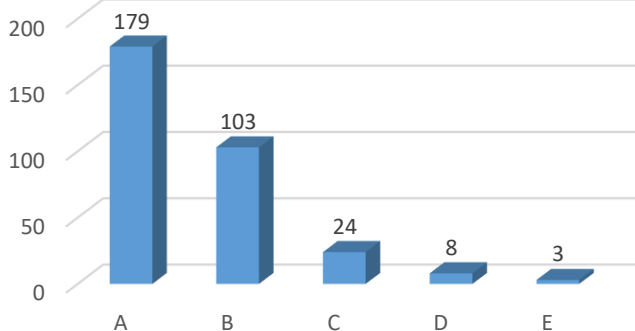
Q 6：学校は心の教育を目指し、工夫して道徳の授業を行っている。



A・Bを合わせた肯定的な意見が児童が86.4%、保護者が75.9%である。授業参観時に保護者に道徳の授業を見てもらう機会を設けている。しかし保護者の「わからない」という回答が20.7%となっており、日頃から道徳的な話題が出るようにしていくためにも、学校と家庭が話題を共有していく必要がある。

Q 7：「3つのあ」を守って生活している。

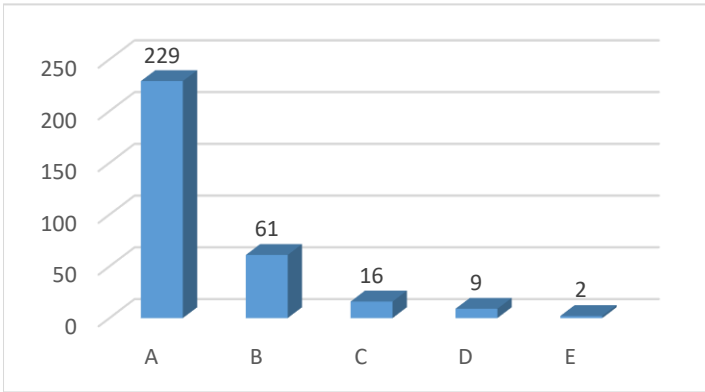
Q 7：学校は子どもの基本的な生活習慣を育てる支援をしている。



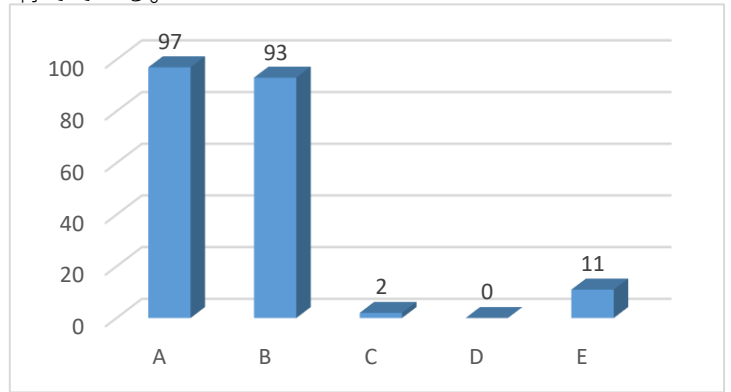
「北小っ子の一日」や「3つのあ(あいさつ・あんぜん・あつまりかた)」など生活目標を意識した生活が送れるよう指導している。A・Bを合わせた肯定的な意見が児童が89%、保護者が87.2%であり、肯定的な結果になっている。今後も引き続き学校と家庭が連携し児童の基本的な生活習慣を育てていけるように感じます。

については、今後も71と税と子供と家庭が連携し児童の基幹的役割負担を肩こしていることよりと感じる。

Q 8：学校での体験活動や行事などは楽しい。

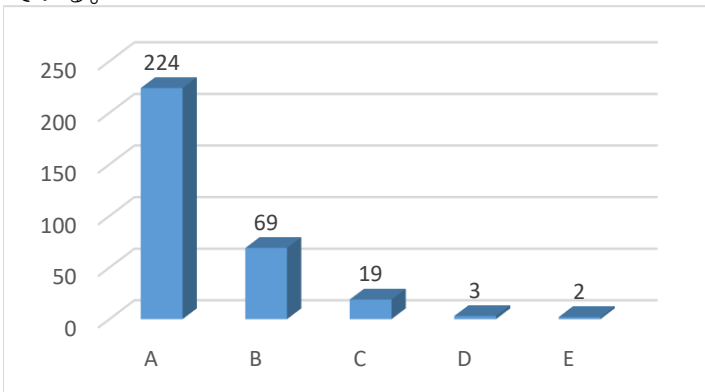


Q 8：学校での体験活動や行事を通じて、児童の豊かな心を育てている。

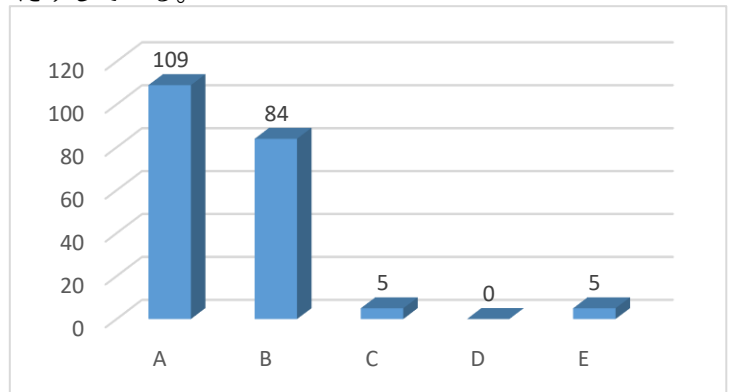


体験活動については、児童は91.5%、保護者は93%が肯定的な意見である。コロナ禍において感染症対策を徹底した上で学校行事を実施し、児童は意欲的に参加している。行事を通して大きく成長している姿があるので、今後も引き続き学校行事の目指すところを明らかにし、それが達成できるよう、積極的に働きかけていきたい。

Q 9：私は学級での役割を果たしたり友達と仲良くしたりしている。



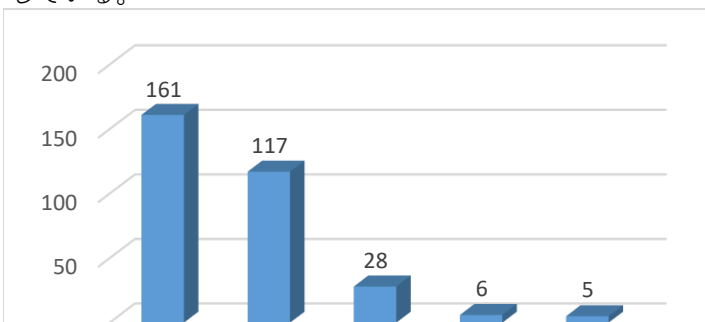
Q 9：子どもは、学級での役割を果たしたり友達と仲良くしたりしている。



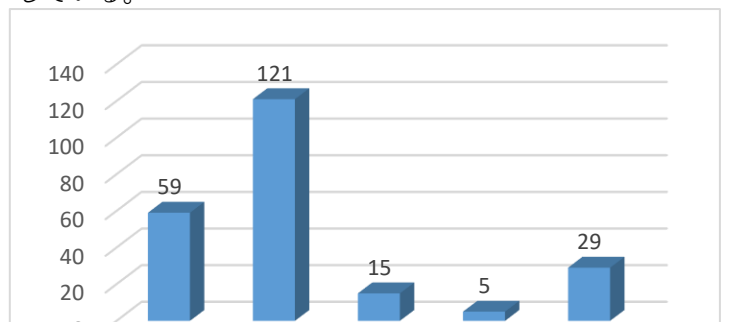
学級での様子では、児童は92.4%が役割を果たしたり友達と仲良くしたりしていると答えている。保護者回答の95.1%が肯定的な結果になっている。今後も家庭とより連携し、学校や家庭での役割を明確にすることなどを通して、勤労意欲を高めていきたいと考えている。また、友達との関わりについても、一緒に活動する場面で仲良くできるよう支援を継続していきたい。

健康・安全について

Q 10：みんなが安心して気持ちよく生活できるよう行動している。



Q 10：学校は子ども一人一人に応じたきめ細やかな指導をしている。



0

A

B

C

D

E

0

A

B

C

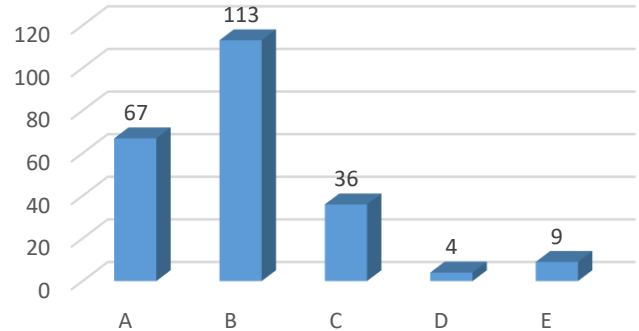
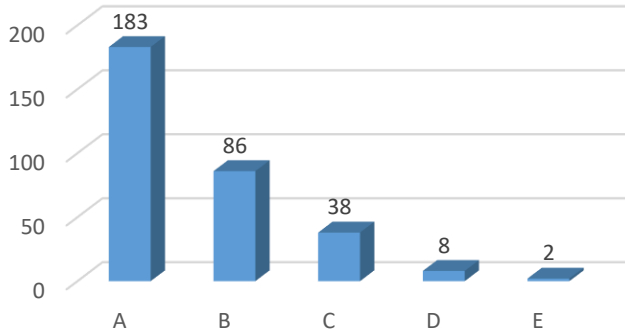
D

E

健康で安全な生活にするために、毎日の検温や健康観察を行い、環境衛生検査や清掃指導を実施した。児童の87.7%は安心して生活できるよう行動したと回答している。保護者からは78.6%が概ねできているとの回答を得た。感染症防止対策を継続し、今後も学校と家庭で連携し、健康・安全な生活や望ましい生活習慣が確立できるようにしていきたい。

Q 1 1 : 給食を残さず食べようと努力したりランRUNタイムで時間いっぱい走ったりしている。

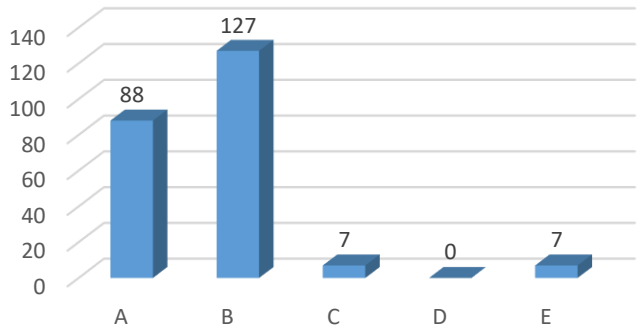
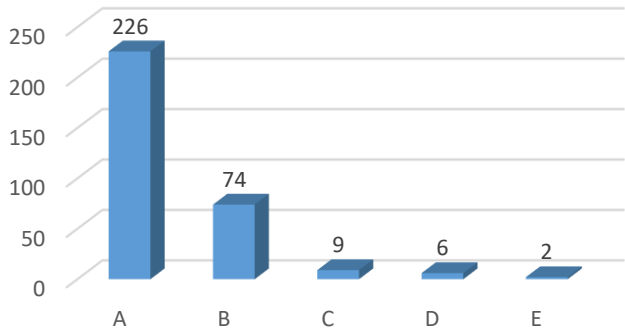
Q 1 1 : 子どもは健康を考えて、食事や体力づくりに気をつけてる。



食生活や健康作りについては、児童が84.9%、保護者が78.6%が概ねできているとの回答を得た。バランスのよい食事を心がけることは、体の成長や心の成長に大きく影響し、健康づくりの基盤となるものである。栄養や食事のとり方を理解し自ら管理していく力を身に付けることができるよう、学校と家庭が連携して進めていきたい。

Q 1 2 : 避難訓練や交通安全教室など、安全について学び、安全に気を付けて生活している。

1 2 : 子どもたちは災害安全や交通安全等について学び、安全に気を付けて生活できるようになってきている。



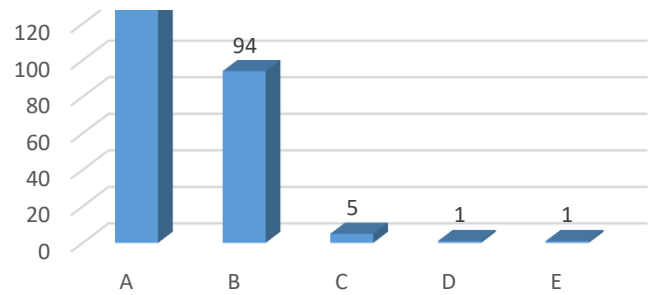
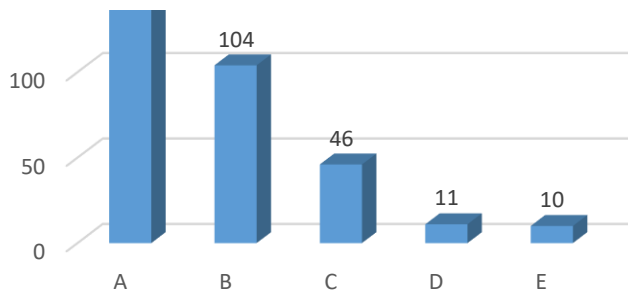
交通安全では、道路を歩行するときや自転車に乗るときは、自分自身の生命を守るために一人一人が安全に気をつけて注意しなければならないことを理解させていきたいと考える。安全に気を付けて生活しているという肯定的な回答は児童が94.6%、保護者が93.9%である。あらゆる危険を考え安全に行動できるよう学校と家庭が連携して進めていきたい。

地域とともにある学校について

Q 1 3 : 地域に出かけたり地域の方とふれあったりする活動が好きだ。

Q 1 3 : 学校は各種たよりやHPで学校の様子を知らせている。

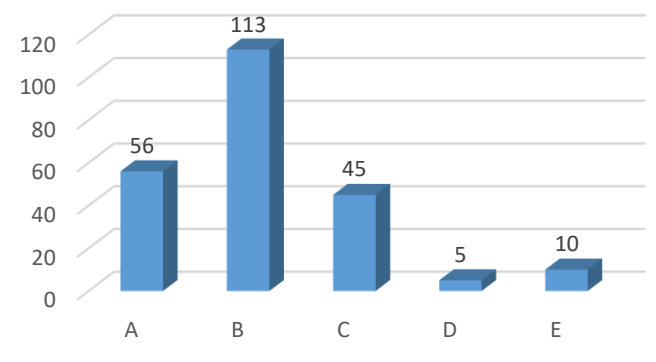
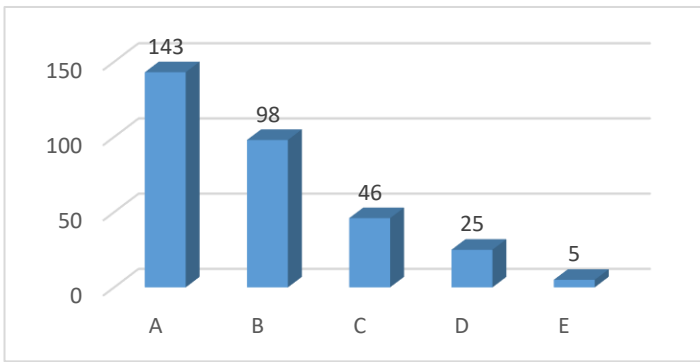




地域へ出かけたり地域の方とふれあったりする活動に関しては、児童の78.9%が肯定的な回答である。学校からのたよりやHPについては保護者の96.9%が肯定的な回答である。コロナ禍の現在、地域に出かけることや地域の方とふれあう活動に制限のある状況が続いているが、その中でもできることを模索していきたいと考えている。

Q14：地域の方にあいさつしたり、地域の行事に参加したりしている。

Q14：子どもは地域の方にあいさつしたり、地域の行動に参加することを楽しみにしている。



A・Bを合わせた肯定的な意見が児童が76%、保護者が73.8%である。地域の方にあいさつしたり地域の行事に参加したりして地域とつながりを持つ経験は大変重要であるが、現在は難しい状況が続いている。学校と地域がつながり、児童を育てていけるよう考えていきたい。